

十符の里プラザが 新しく生まれ変わります

文化交流センター「リフノス」の開館に伴い、それまで十符の里プラザに設置されていた公民館や図書館、生涯学習センターの機能が、リフノスや役場本庁舎に移転しました。町では、その後の利活用について検討を進めているところですが、現時点で決定している方針についてお知らせします。

01 生涯学習センターを解体



町の社会教育施設拠点としての役割を担ってきた施設ですが、役場庁舎として昭和40年に整備された建物であり、すでに耐用年数を過ぎ、老朽化が進んでいることから利用に係る安全性を考慮し、解体することになりました。

工事期間は、令和3年12月頃から令和4年10月頃までを予定しています。

02 消防団詰所を新設



10月1日から利府町消防団分団の統廃合が実施されたことに伴い、消防団の活動環境を整え、より一層の活動の充実を図るとともに、消防団のリーダー的役割を担う防災拠点とするため、消防団中央分団の詰所を新設します。



03 十符の里プラザを改修

1,2階を児童センターへ、
3階を郷土資料館に



町では、利府町子ども・子育て支援事業計画において、児童福祉の拠点として児童センターの整備を掲げていることから、必要な改修工事を行った上で、旧公民館を「(仮称)中央児童センター」へ転用します。

児童センターは児童館の機能に加え、運動を通じて体力増進を図ることを目的とする施設で、放課後児童クラブや子育て広場としての機能も持つ児童健全育成の拠点として整備してまいります。

郷土資料館については、生涯学習センターの閉館に伴い休館していますが、リフノスの第2期工事により整備されるまでの間は、(仮称)中央児童センターの3階に設置し、郷土資料の展示等を行っていくこととします。